

学習船「うみのこ」新船建造について

1 新船のコンセプト

●昭和58年就航以来継承してきた「湖の子」教育のねらい
学校教育の一環として、県内小学5年生を対象に、母なる湖・琵琶湖を舞台にして、学習船「うみのこ」を使った宿泊体験型の教育を展開し、環境に主体的にかかわる力や人と豊かにかかわる力をはぐくむ。

上記のねらいを継承しつつ、新たな未来への展望を拓くために新船を建造する。そのコンセプトをまとめると

- (1) 琵琶湖をフィールドにした体験学習、環境学習のシンボル
○世界にひとつしかない湖上で宿泊しながら学ぶ船として、上記のねらいをしっかりと継承
- (2) 新たな視点を取り入れた学習ができる船
○探究的な学びの場、充実した環境学習が可能な学習船
- (3) 新たな機能をもった学習船
○ユニバーサルデザイン、エコシップ、緊急災害時に対応できる船

2 新船の検討経過

- ・新船建造協議会を平成24年9月から7回開催。
- ・平成26年度県議会常任委員会で3回報告。
- ・平成27年3月に基本仕様を策定、予算が承認。

3 新船の基本設計の特徴（詳細は別紙）

項目	現船	新船	新船の主な変更点
総トン数	928トン	約1,210トン	現船の4層構造から新船は5層構造に変更。
満載喫水	1m	約1.5m	喫水を深くすることで、強風の影響が減り、安定した運航が実現。
児童用宿泊室	232㎡ 240名	約203㎡ 180名	児童1人当たりの面積が拡大し、ゆとりのあるスペースを確保。
多目的室 (現船では学習室)	125㎡	約130㎡	学習成果の交流や、インターネットを利用したテレビ会議などに活用。
学習室兼食堂 (現船では食堂のみ)	122㎡ 112席	約185㎡ 184席	児童が一堂に会し、グループでディスカッションをするなど、主体的・探究的な学習に活用。
実験室	—	約21㎡	水質調査、泥土調査、水深調査など、詳しく調べる学習に活用。
防災倉庫	—	約86㎡	非常用の湖水浄水装置、救命胴衣を常備。緊急災害時の物資輸送が可能。

*カッター艇は、琵琶湖大橋港付近に保管し、効果的なカッター活動を展開。

4 今後のスケジュール

- ・平成27年7月 : 建造工事公告
- ・平成27年8月 : 建造工事入札、仮契約
- ・平成27年9月 : 議会に契約締結議案上程
- ・平成27年10月 : 建造監督業務入札、契約
: 詳細設計開始
- ・平成28年2月 : 建造工事開始
- ・平成29年4月 : 新船就航予定